

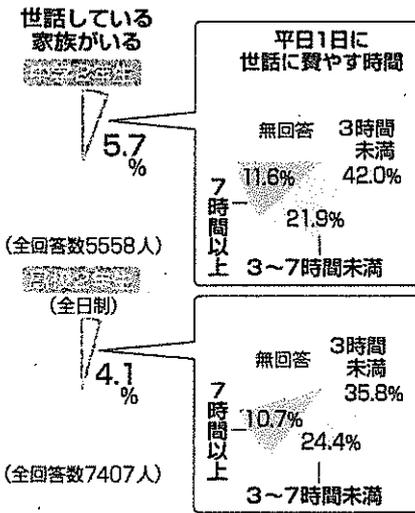
介護・世話中2の6%

ヤングケアラー1日7時間以上1割

厚生労働・文部科学両省は12日、病気の家族の介護や世話を担う18歳未満の子ども「ヤングケアラー」に関する初の実態調査結果をまとめた。中学2年生のうち世話をする家族が「いる」と答えた割合は5・7%。平日1日に世話に費やす時間が7時間以上という負担が重い生徒も1割程度いました。調査結果は同日の両省プロジェクトチーム(PJT)実施。中学2年生で5

558人、全日制高校の2年生で7407人が回答しました。中学2年生では、5・1%が「ほぼ毎日」

「ヤングケアラー」の実態調査



と答え、「週に3〜5日」(17・9%)、「週に1〜2日」(14・4%)を上回りました。平日1日に世話に費やす時間は平均4・0時間。「3時間未満」が42・0%と最多でしたが、11・6%が「7時間以上」でした。全日制高校の2年生では4・1%の307人が世話をする家族が「いる」と答え、世話をする頻度は47・6%が「ほぼ毎日」としました。平日1日に世話に費やす時間は平均3・8時間。「7時間以上」は10・7%でした。世話をする家族の内訳を複数回答で聞いたところ、「きょうだい」が中2で61・8%、高2で44・3%と最も多く、「父母」「祖父母」が続きました。